



ベンチャー企業と地域との協業事業の創出

熱意ある地方創生ベンチャー連合

1. 団体概要
2. 事業概要
3. 実施内容
 - 企業・地域側のニーズヒアリング
 - オンライン講座
 - ワークーションプログラム
4. 成果内容
5. 今後に向けて



団体概要

(一社) 熱意ある地方創生ベンチャー連合の目的

**ベンチャー企業のもつ
イノベーティブなサービスにより
地域課題解決や地域事業の生産性を上げ
持続的な地域の経済発展に貢献すること**

会員企業

 アウモ 株式会社	 株式会社 アグリメディア	 アソビュー 株式会社	 株式会社IBJ	 アマゾンウェブサービス ジャパン合同会社	 株式会社 アジャイルHR	 株式会社 阪急交通社	 株式会社 バトonz	 株式会社 PRTIMES	 ピクスタ 株式会社	 株式会社BTM	 FANTAS technology 株式会社
 一般社団法人日本医療 デザインセンター	 whiskey&Co. 株式会社	 株式会社 LGブレイクスルー	 オイシックス・ラ・大地 株式会社	 オプスデータ 株式会社	 オリックス・ホテルマネ ジメント 株式会社	 株式会社FUNDINNO	 株式会社 フューチャーヒット	 フューチャベンチャーキ ャピタル 株式会社	 フラー 株式会社	 プレイクストラボ 株式会社	 株式会社 プレースホルダ
 OCA大阪デザイン&IT専 門学校	 株式会社OKPR	 株式会社温泉道場	 canow 株式会社	 株式会社 キッチハイク	 株式会社 クリーム	 株式会社 ベルテクス・パートナ ーズ	 株式会社 ホープ	 株式会社 ポケットマルシェ	 株式会社 MAIA	 株式会社 マインドシェア	 株式会社マグネット
 株式会社 グラファー	 株式会社 Glocal K	 Glocal Government Relationz 株式会社	 株式会社グロービス・ キャピタル・パートナ ーズ	 KDDI株式会社	 株式会社 コウダプロ	 株式会社 マネーフォワード	 株式会社 むらやま建設	 株式会社 47PLANNING	 ライフイズテック 株式会社	 株式会社 LIFULL	 ランサーズ 株式会社
 株式会社 静岡銀行	 株式会社 集客デザイン研究所	 株式会社 スイッチカンパニー	 株式会社 skyer	 株式会社 ZENKIGEN	 ためま 株式会社	 リノべる 株式会社	 株式会社リブコン	 株式会社 LUUP	 READYFOR 株式会社	 株式会社 レベルフォーデザイン	 WAmazing 株式会社
 株式会社 地域ブランディング 研究 所	 株式会社 デジタルチェンジ	 株式会社 テレビ東京コミュニケー ションズ	 株式会社 トラストバンク	 ナイル 株式会社	 株式会社 ネクイノ						

合計68社 (2022年3月現在)

会員企業数

68社

Slackメンバー

214名

メルマガ会員

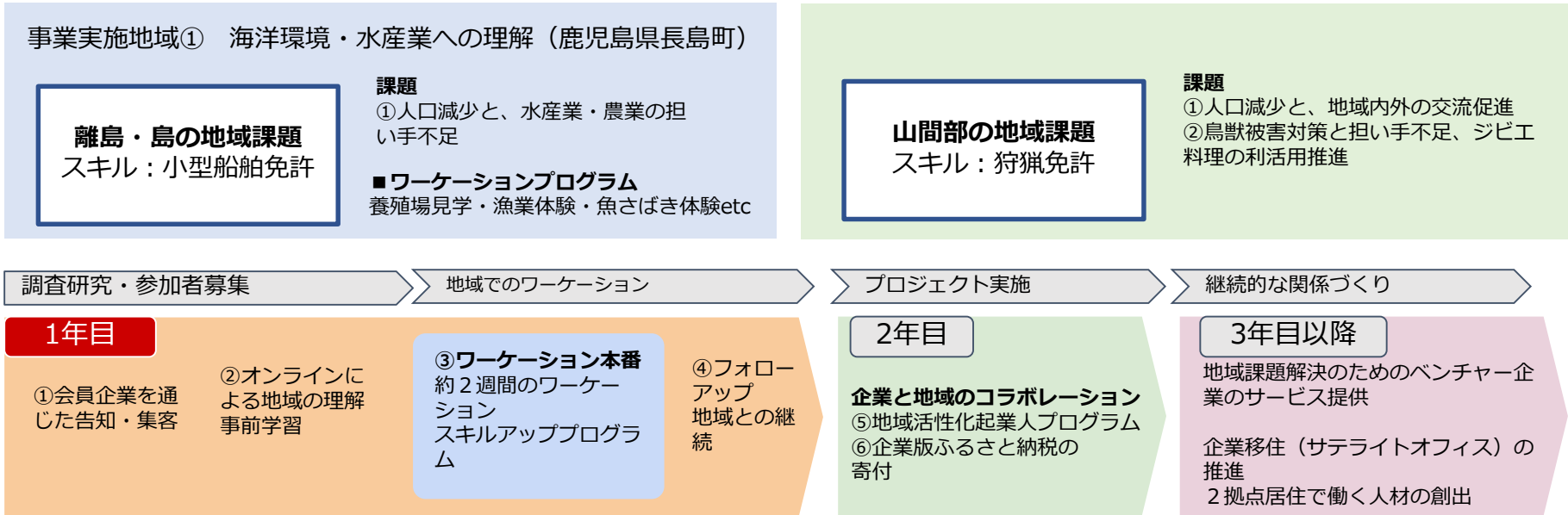
2,998名



事業概要

ベンチャー企業と地域との協業事業の創出

ワーケーション × スキルアップ



関係人口事業を実施する目的、背景

地域での水産業の担い手不足や鳥獣被害など、地域の課題に対して都市部のベンチャー企業の人材とソリューション、拠点を地方に移転していく



海洋資源の現状・水産業の現場を知る



林業・鳥獣被害などを知る

関係人口事業を通して挑戦したい事や課題

現状：地域課題を把握した企業とサービスのマッチングができていない。

挑戦したいこと：地域課題に取り組むきっかけとしてのスキルアップ（資格取得）をワーケーション中に行い、協業プロジェクトや長期的な企業移住につなげていく

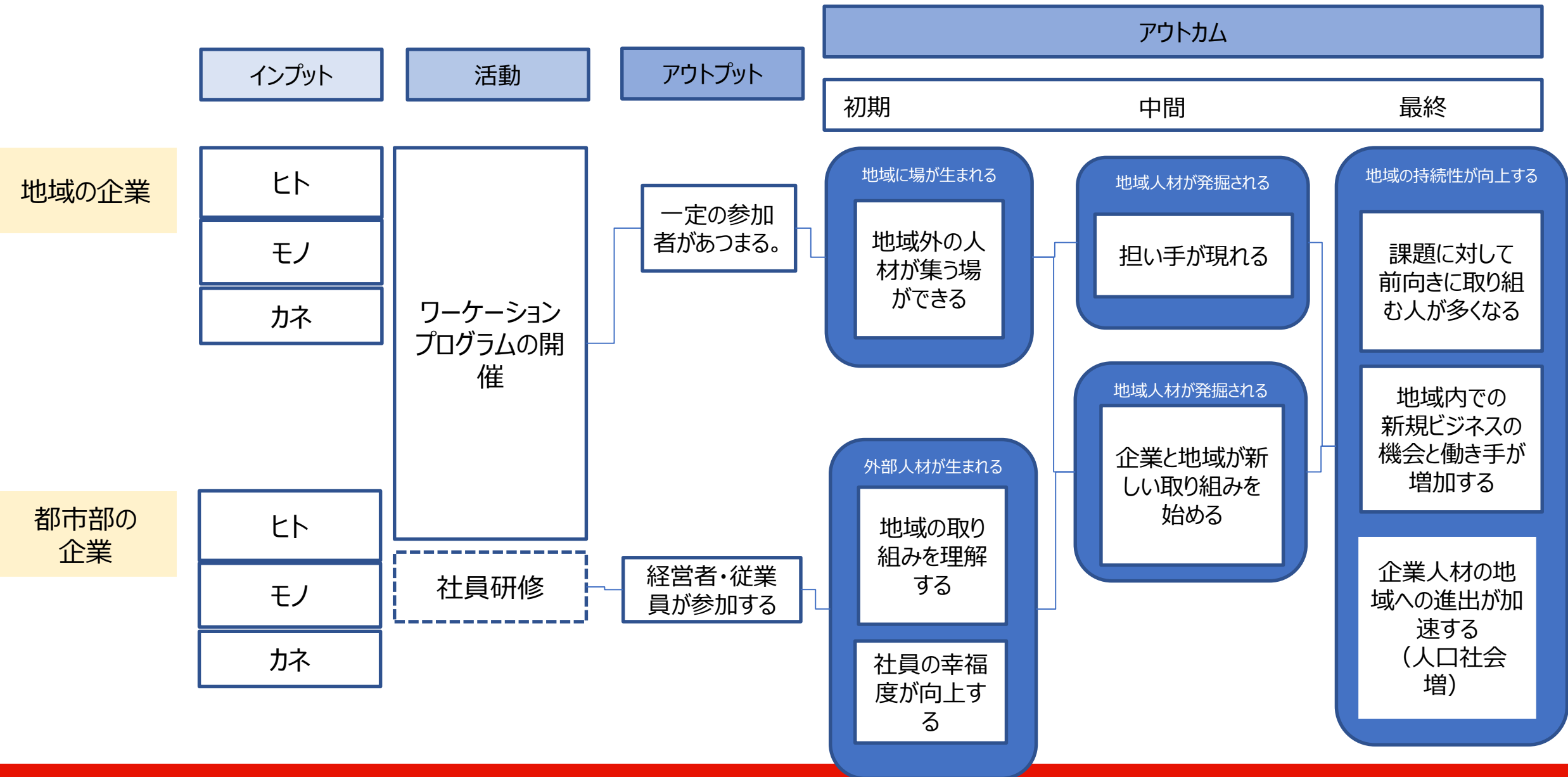


小型船舶免許



狩猟免許

我々の考える“関係人口”





実施内容

- ワークーションには行きたいし社員にも行かせたいが、行かせる動機がない。
- あくまでも個人の裁量の中で実施していること。
- 観光事業者としては観光のかたちが変わったものとしてチャンスと捉えている。

- 日時が決まっているプログラムには、出張申請が必要。経費にみあった成果が求められる。

- ワークーションで盛り上がっているのは観光業に携わっている一部だけ。
- 企業の人がかきてもらいたい、どんな企業にどうしたら来てもらえるか分からない。
- 地域のことをもっと知ってもらいたいと思っているが、知ってもらった上で何ができるのかわからない。

地域に訪問し関係各所との調整を実施。



大日本猟友会上球磨郡支部・鹿児島海技センター訪問

「関係人口・スキルアップ講座」



事業成果・KPI達成状況		
	項目	達成状況
1	参加人数	349名 (8月2日実績) 達成率: 174%達成 (目標: 200名)

ワーケーション×スキルアップの実施



事業成果・KPI達成状況

	項目	達成状況
1	参加者数	14名（長島町：6名、多良木町：8名） 達成率：140%達成（目標10名）
2	満足度	8.1（目標8以上）（10段階）達成

長島町の様子



- (1) 6月23日 事前調整のための視察活動
- (2) 7月30日 オンライン説明会
- (3) 10月1日～7日 スキルアップ×ワークショップの実施

	9/29	30	10/1	10/2	10/3	4	5	6	
	水	木	金	土	日	月	火	水	
5:00									
6:00					移動				
7:00					船舶免許講習 実技・学科	漁業体験ツアー			
8:00									
9:00			DIY体験	船舶免許講習 学科					
10:00									
11:00									
12:00					食事				
13:00				船舶免許講習 学科	船舶免許講習 実技・学科				
14:00	草刈り	清掃							
15:00									
16:00									
17:00									
18:00	食事	BBQ準備	食事						
19:00									
20:00					BBQ				
21:00									
22:00									

多良木町の様子



6月25日 事前調整のための視察活動

7月16日 オンライン説明会

12月1日～8日 スキルアップ×ワーケーションの実施

	1	2	3	4	5	6	7	8
	水	木	金	土	日	月	火	水
6:00						雲海ヨガ		
7:00			雲海ヨガ					
8:00			雲海観察					
9:00		狩猟体験		雲海ツアー (登山)		狩猟体験		
10:00			酒造見学					
11:00			ランチ				ビジエ競り市	
12:00								
13:00								
14:00			狩猟講習会					
15:00		鹿の解体等の 見学		SUP体験				
16:00								
17:00								
18:00								
19:00			懇親会			ジビエBBQ		
20:00		ジビエ料理 食事会						
21:00								
22:00								



成果内容

事業の目標・達成状況

	目標	達成状況
1	オンライン説明会参加者数：200名	349名 達成
2	プログラム参加者数：10名（各地地域5名）	14名達成
3	継続するプロジェクトの数：1プロジェクト	2プロジェクト進行中
4	参加者満足度：8以上（10段階）	8.1 達成（回答率71%）

オンライン説明会の実施

- 熱意ある地方創生ベンチャー連合のYouTubeチャンネルを使い、2回それぞれ実施することができた。
- 今回の関係人口がターゲットする地域の特性と、地域との関わりしるを、目標以上の参加者に伝えることができた。
- 鳥獣被害や水産業の課題について、興味を示してくれた企業が多数見つかった。

ワーケーション×スキルアップの実施

- 新型コロナウイルスの感染拡大により日程の変更や参加者のキャンセルが相次いでしまったが、結果として無事2つの地域にベンチャー企業がワーケーションスキルアップを行うことができた。
- スキルアップ（免許取得）という目標のため、ある程度費用のかかるワーケーションプログラムでも参加者を集めることができた。
- 当初予定していた地域住民にむけたベンチャー企業とのコミュニケーションを促す取組は、感染対策の観点から実施を見送ることにした。



今後にむけて

地域との継続的な取組支援

調査研究・参加企業募集

地域でのワーケーション

1年目

地域の調査

受け入れ地域のニーズやスキルアップ研修の実施可否について協力事業者と調整

企業へのヒアリング

会員企業のニーズについてヒアリングを実施

オンライン講座開催

各地域の取り組みを協力事業者からオンラインで配信。
会員企業を含め広く視聴いただく。



ワーケーションの実施

約1週間のワーケーションを実施予定。
期間中に地域の魅力や産業を知るツアー・スキルアップ講座を実施する。



プロジェクト

関係継続

2年目

協業事業の企画

地域活性化起業人制度や企業版ふるさと納税などの制度を活用し、地域と企業がコラボレーションできる事業を計画する。

3年目以降

協業事業の実施

地域課題解決のためのベンチャー企業のサービス提供したり、企業移住の推進、多拠点居住で働く人材の排出を目指す。

➤ 受益者負担の取組

- 移動滞在費と資格取得も含めると参加者の負担は約15万円程度となっているが参加者は多数見つかった
- 参加費を自走できる負担額にあげることで、地域での受け入れを増やすことを目指す

➤ 定常的な受け入れ体制の構築

- 期間を区切ることなく定常的に受け入れが可能にして、運営コストを軽減する

➤ 観光関連事業者との協業

- 企業やフリーランスの多拠点居住をすすめる取組をしている団体等との協力の元、受け入れ地域をふやすことで収益化を目指す

➤ 多様なスキルアップに対応

- 「スキルアップ」という設計が、企業の経営層への理解を得ることができた。
- 地域特性を生かしたものであれば民間資格も含めて選択肢は多くあり

➤ テレワーク事業の可能性

- 企業の採用活動と地域のテレワーク推進の両方の側面から、企業のワーケーションの受け入れを進めていく可能性